

..... 編集後記 .....

◆ 今月号は、一般投稿して頂いた原稿をもとに編集しました。海外の鉱物資源に関する報告が1件、国内の地質に関する報告が3件（うち2件は地質災害に関して）、それに海外旅行記（マダガスカルとギリシア）が2件です。全体6件のうち、4件が定年退職されたシニア世代からの投稿です。シニア世代の旺盛な好奇心と行動力には感服いたします。

◆ 石原舜三さんと村上浩康さんは、需給の逼迫が懸念されている世界のレアアース資源について、鉱床タイプごとに詳細にレビューしています。先月号の掘琢磨さんが報告したレアメタルと共通する問題点を含んでいます。今後、レアアース資源の開発指針を考える上で、大変参考になると思います。関連の写真が表紙と口絵にも掲載されていますので、あわせてご覧ください。

◆ 柏木健司さんほかは、2004年9月の台風で生じた三重県宮川村の斜面崩壊について報告しています。詳しい地質調査によって、災害の実態を如実に復元させています。災害の恐ろしさを改めて実感することができます。宮川での災害前後の状況変化は口絵にも紹介されていますので、ご参照下さい。本報告の続報は次号に掲載予定です。

◆ 澤井さんほかは、仙台平野の堆積物から歴史時代の巨大津波堆積物を見出したことについて報告しています。宮城県沖地震の発生確率が高く予想されていますので、このような津波による被害予測は大変重要な研究であるとともに、その成果は地方自治体を通して、いち早く地元住民にきちんと理解してもらおうこと

が重要かと思います。

◆ 新保久彌さんは、関東各地の海岸砂浜から有孔虫遺骸を多数発見し、それらを顕微鏡下で鑑定しています。そして、砂浜毎に有孔虫の種類や頻度が異なることを明らかにし、その原因は河川水の流入や海流の影響などであると推定しています。喜寿を過ぎても、なお元気に研究を続けている姿には、感動いたしました。

◆ 蟹澤聰史さんは、シリーズ「文学作品の舞台・背景となった地質学(7回目)」として、地中海東部の地質とギリシア神話について紹介しています。ギリシア神の名前はどこかで聞いた覚えはあるものの、その由来までは知らない方も多いと思われるのですが、それがこの報告で詳しく解説されています。また、ギリシア神話に関わる各地の史跡や山々の歴史や地質についても、分かり易く紹介されています。口絵とともにお楽しみ下さい。

◆ 蟹江康光さん・蟹江由起さんは、マダガスカルの地質と文化について紹介しています。その中でペグマタイト鉱物採集の様子や地元住民との触れ合いが、ワクワクするような楽しい文章で綴られています。マダガスカルに鉱物採集に行ったつもりで、お楽しみ下さい。

◆ 以上の通り、今月号も多岐にわたる記事をお届けできました。シニア世代のパワーに負けずに、ジュニア世代もミドル世代もがんばりましょう。また、読者の方々には各報告に対する感想や地質ニュース誌への要望などを事務局宛にお寄せくださいますようお願い申し上げます。  
(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・七山 太・

光畑裕司・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

地質ニュース	第624号	2006年	8月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2006年8月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

© 2006 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ